



IBM Maximoのビジネス価値

IBM Maximoを使うと、企業は所有する資産やその保全を担当する従業員の管理に大きな価値を実現できる。IDCは、資産管理能力、ユーザーの生産性およびビジネスイネーブルメントの向上によって、平均的な企業は**保全担当者100人当たり平均年間利益130万ドル**を実現し、**5年間の平均ROIは450%**になると推定する。

主要な成果



1,460万ドル

年当たりのビジネス上のベネフィット



450%

5年間のROI



13か月

投資回収期間

お客様の声 (官公庁：職員数1,250人)

「IBM Maximoでしたら、職員のために予知保全のスケジュールが組まれるので、業務をうまく自己管理でき、重要な問題が発生する前に、対処できるようになります。また、Maximoはすべての保全情報をシステムに一元化できます。そのため、技能者は現場から、すぐに資産の全履歴を把握できます」

[ホワイトペーパーのダウンロードはこちら](#)

平均年間利益

企業当たり1,460万ドル

1,361万2,600ドル

資産コストと管理の効率

37万5,900ドル

ビジネスの生産性向上のベネフィット

60万6,300ドル

プラットフォームチームの効率

お客様の声 (バイオテクノロジー：従業員数1,200人)

「IBM Maximoを使用する上で、最も大きなベネフィットは、コストとダウンタイムの削減です。また、一般的な資産管理も最適化できます。Maximoによる予測可能性は、優れた保全慣行とスケジュールをいかに策定するかを考える際にベネフィットをもたらします」

ユーザーの効率

プラットフォーム管理チームの効率が**66%向上**

エンドユーザーの生産性が**28%向上**

年間ビジネス効率

計画外ダウンタイムが**43%減少**

ビジネスに影響するインシデントが**28%減少**

収益増加による年間純益が100人の保全担当者当たり**4万4,732ドル**

[ホワイトペーパーのダウンロードはこちら](#)

スポンサーメッセージ

本書のスポンサー企業は、IBMです。お客様によっては、コストと成果が異なる場合があります。市場をリードするインテリジェントな資産管理ソリューションの詳細については、www.ibm.com/maximo をご覧ください